

ニットイングの実践知識

BASIC KNOWLEDGE OF KNIT

消費がますます成熟する中で、素材へのこだわりや上質さ、手の込んだ作りなどを感じさせる商品のニーズと若い世代を中心に、低価格・良感度商品が売れるなどニーズの2極化が進むファッションマーケット。ニーズが二極化する中で、いかに購買意欲を刺激する商品を企画・提案するかが問われています。厳しい市況においても、ニット商品は、シーズンを問わずトレンドや実需において、消費者の支持を受けるマストアイテムになっています。例えば、海外コレクションや国内の売れ筋を見ても、シンプルなものと言うまでもなく凝った編地や伝統的な柄、数種類にわたる糸使いのものまでがウエアのみならずファッショングッズまで数多く提案されされています。このことから商品企画や商品戦略を考える上で、糸や生地、編地（デザイン）の選択と異素材、異ゲージとの組み合わせなどディテールやテクニック使いがポイントとなるのは言うまでもありません。ニットに関する知識はテキスタイルに負けず劣らずコスト面やものづくりをする上でますます必要不可欠になっています。

そこで弊社では、アパレル・ニット・ヤーン業界の若手（新入）社員または初めてブランドを任されたデザイナー、MD、営業の方々、小売業で販売に携わるの方々に向けて、ニット（横編・丸編・経編・手動横編）に関する基礎から応用・実践までを実際の編地、糸、ゲージ見本と詳細なテキストを基に実務経験豊富なニットのプロがわかりやすく解説する講座を開催いたします。

日時：東京／2012年9月19日（水）10:00～18:30

大阪／2012年9月26日（水）10:00～18:30

会場：東京／長井記念館（渋谷区渋谷2-12-15）

大阪／大織健保会館（大阪府中央区瓦町2-6-9）

講師：町筋 ゆり（アトリエ・デュオ株式会社 代表取締役/ニットプランナー）

●受講料：1名 **21,000**円（テキスト・編地・糸・ゲージ見本帳（約75点）・消費税込）

※一社で5名以上参加の場合10%割引します。最少実施人数に達しない場合は開催を中止する場合があります。

●主催：株式会社ファッションリソースセンター・ファッション情報課

●お申込み：下記の受講申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

ご予約方法 折り返し、受講票と会場案内図をお送りさせていただきますので、当日会場の受付へご提出下さい。

●お支払い：お手数ですが、請求書到着後1週間以内に下記口座へお振込み下さい。（振込手数料はご負担願います）

方法 一度お振込頂いた受講料は、ご返金致しかねますのでご了承下さい。

三井住友銀行学園前支店（普）3756739（株）ファッションリソースセンター

●お問い合わせ
お申込先

TEL0742(51)3747 FAX0742(51)2339

<http://www.trend-seminar.com>（こちらからも、お申し込みいただけます）

-----（キリトリ線）-----

実践知識（ニット）

受講申込書

会社名	請求書(要・不要)		入金予定日 (月 日)
住所〒	☎ ()	FAX ()	
会場	受講者名	部署・役職名	e-mail
東京・大阪			
東京・大阪			
東京・大阪			
東京・大阪			
東京・大阪			

本お申込みで取得致しました個人情報につきましては、当社は適正に管理し、今後、当社が主催する各セミナーのご案内をさせて頂くことを目的として利用させていただきます。尚、ご案内が不要な場合は、当社までFAXにてご連絡をお願い致します。

講座カリキュラム

◎基礎からモノづくりの実践まで、これだけは知っておきたいことを具体的に分かり易く解説

時 間	テ ー マ	内 容
10:00) 18:30 (途中休憩あり)	組 織 と 分 類	<p>『組織』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニットと布帛（織物）の組織差 ・緯編と経編の組織差と特質 <p>『編機による製作分類』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯編（横編・丸編）経編 ・成形商品、カット・アンド・ソーン商品、 ・カット・アンド・リンキング商品、ホールガーメント商品
	素 材	<p>『糸の選び方』</p> <p>『主な使用素材』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラミーとリネン、主な羊毛と獣毛、今注目されている素材 ・紡績糸、フィラメント糸、加工糸の種類と特徴（参考編地使用） <p>『糸の番手とデニール』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定基準と算出法、換算法、番手の呼称、単糸と双糸
	編成テクニック	<p>『編地の方向』 ・コースとウェール</p> <p>『ゲージの呼称と種類』 ・コースゲージ、ミドルゲージ、ファインゲージ</p> <p>『ゲージと適合番手』</p> <p>『針配列』 ・編成の基本的操作（緯編、経編） ・針の種類とループの作り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シングルニードルとダブルニードル <p>『編目記号と編成記号』</p>
	編 組 織	<p>『編地一覧』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編機の針配列別に分類した全編地（自動機用） ・手横機で編める編地、編めない編地 <p>『代表的な横編組織・丸編組織・経編組織』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各編地の特性と用途、製品になったイメージ ・ジャカード、インターシャ、組織柄の意匠についての知識 <p>『編地に関する知識』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編地の上下、度目、目付け、斜行など
	縫 製	<p>『縫製の種類』 ・縫目形式とリンキング手法（地縫い用、付属付け用）</p> <p>『ニット縫製のポイント』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細部の縫製方法（代表例） ・異素材、異ゲージの組み合わせ、トリミング、裏地付け
	パターンの特徴 と仕様書例	<p>『カット・アンド・リンキング商品の場合』</p> <p>『成形商品（手横・自動機）の場合』</p>
	ものづくりの 実 践	<p>『コストを意識したものづくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン面（デザインデータの活用・効率のよいデザイン発想） ・テクニック面（効率的な編地設定・ニットの特徴を生かした作り方） <p>『トレンドを商品化するテクニック』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸と編地の選び方と注目テキスタイル ・複数テクニックの組合せ ・手仕事によるカジュアルリッチ表現 <p>『ニットで生地素材感を表現するには』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地特有の複雑な表面変化を軽くソフトに表現